

資金不足比率計算書

参考資料 2

(算式)

資金不足比率 =
$$\frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$

(説明)

(単位：千円)

下水道事業会計		R6年度 A	R5年度 B	増減 (A-B)
資金の不足（剰余）額 ※差 引 負の数値は不足額 正の数値は剰余額	流動負債の額 a	344,522	410,047	-65,525
	流動資産の額 b	667,186	614,724	52,462
	差 引 (b-a)	322,664	204,677	117,987
事業の規模	営業収益の額 c	1,226,917	1,268,705	-41,788
	受託工事収益の額 d	0	0	0
	差 引 (c-d)	1,226,917	1,268,705	-41,788
資金不足比率（％） （資金不足比率は、正の数値とする）		-26.3	-16.1	-10.2
経営健全化基準（％）		20.0	20.0	

（備考）事業の規模は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行令第17条第1号の規定に基づき算定しています。